



法眼堂友禪

18 西村總左衛門か

《天鷲絨友禪龍図》

一幅

明治二十三年（一八九〇）

天鷲絨地、友禪染

総二七四・〇×二二〇・五

図様の本紙部分と、一見すると表具裂に見える部分もすべて、一続きの天鷲絨地に友禪で表された掛幅装の作品である。表具の構造としては天鷲絨地のみではなく、紙で裏打ちが施されており、後世に補強のためにとられた処置と考えられるが、これほど大幅の天鷲絨友禪の作品が現存していることは貴重である。

箱書きに「墨絵友仙染龍 探幽筆写 明治二十三年博覧会御用」とあり、第三回内国博の買い上げ作品と考えられるが、作者は不詳で、内国博の出品目録等の資料にも関連を裏付ける作品名を見いだすことが出来ない。一方、近年の調査で本作の原画となった狩野探幽の「龍図屏風」が現在、千總に所蔵されていること（本作は六曲一雙のうち右隻の図様）、天鷲絨友禪の技法がこの時期の西村總左衛門に特徴的なものであることから、西村か、その周辺での製作によるものと位置づけられる。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

内国勸業博覧会 ― 明治美術の幕開け

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 57

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成二十四年四月二十一日発行

© 2012, The Museum of the Imperial Collections